

平成 24 年 度

事業報告及び附属明細書

公益財団法人やまがた健康推進機構

## 概要

昨年4月1日、やまがた健康推進機構は、結核及び生活習慣病等の予防に関する事業を行い、県民の公衆衛生の向上に寄与することを目的として、新制度による公益財団法人としてスタートした。平成24年度の業務運営に当たっては、組織の透明性や公平性を高め、更に内部統制の強化やコンプライアンス体制の整備に努め、公益財団法人としての社会的使命と責務の発揮に意を用い事業を展開した。

平成24年度は、国では「がん対策推進基本計画」を見直し、がん検診の受診率50%を5年以内に達成するなどの個別目標等を設定し、この計画の推進により「がん患者を含む国民が、がんを知り、がんと向き合い、がんを負けることのない社会」を目指すこととした。本県でも、「山形県健康づくり推進に関する計画」を策定し、本県における特定健康診査の受診率を平成29年度まで70%に引き上げる等の具体的目標値等を定め、「健康長寿やまがたの実現」を推進することとした。また、本年度が最終年度となった第1期の特定健康診査・特定保健指導の実施状況の評価がなされ、平成25年度から5年間の第2期の特定健康診査等実施計画がスタートすることとなった。

このような中で、当法人は次のような事業を展開した。

普及啓発事業では、9月のがん征圧月間・結核予防週間を中心に新聞やテレビ・ラジオなどのマスメディアを活用して各種検診の受診を呼び掛けたほか、全職員参加のもと県や関係団体からの協力を得て、「みんなで広げよう健康の輪2012」を開催し、講演会やラジオの生放送を実施し、広く県民に健康意識の高揚や疾病予防の啓発を行った。また、結核や生活習慣病に関する講演・講話を実施し、知識の向上と予防対策の普及を行い県民の公衆衛生の向上に努めた。

検診事業では、機器の整備による検診機能の充実、検診車等の整備・更新による受診者の利便性の向上を図りながら、特定健康診査、人間ドックや各種がん検診等を積極的に推進したほか、ICカードハンディ健診や当日結果処理システムを効率的に活用し、迅速で正確な検診を実施した。また、検診精度の向上を目指し、循環器等健診委員会のほか6つの委員会を開催し、事業の評価を行うとともに、精度管理向上の取り組みを行い検診機能の強化を図った。更に、蓄積された検診データを分析・活用し、医学的基礎資料として学会・研究会において発表するほか、地域の疾病構造に着目した健康教室を開催した。

公益財団法人である当健康推進機構には自律的な経営が求められ、収支相償の要件を満たしながら安定的に収入を確保し効率的な経営に努め、継続的な事業展開を図っていく必要がある。基本は職員の意識改革と資質の向上であり、OJTはもとより事務改善等に向けた職員の日々の意欲的な取り組みが不可欠である。このため平成25年度から新たに職員考課制度を導入し、組織全体の更なる活性化を図ることとした。

# 普及啓発

## 1. キャンペーン、月間にあわせた広報活動

9月のがん征圧月間・結核予防週間に山形市内において、第3回目となる職員一斉普及啓発「みんなで広げよう！健康の輪」を主催、10月には第6回目となる乳がん撲滅運動「やまがたピンクリボンフェスタ」を共催、乳がんの知識啓発と検診受診勧奨の啓発に努めた。さらに、がん・生活習慣病の各種啓発イベントを後援・協賛し、職員の派遣や健康パンフレットの無償提供など啓発に努めた。また、適時にマスメディアを利用した広報活動を行い、広く県下に健康の大切さや検診受診勧奨などの啓発に努めた。

### (1) 各種キャンペーン、月間イベント活動・開催、後援・協賛等

- ・みんなで広げよう！健康の輪 主催 (平成24年 9月22日 山形市) 講演会参加 約500人
- ・やまがたピンクリボンフェスタ 共催 (平成24年10月 7日 山形市) フェスタ参加 約300人
- ・世界禁煙デー山形フォーラム 協賛 (平成24年 5月27日 山形市) フォーラム参加 約600人
- ・米沢市民公開(乳がん)セミナー 後援 (平成24年10月21日 米沢市) セミナー参加 約170人
- ・米沢市が主体で組織する「健康アピール隊」合同の街頭キャンペーン(平成24年9月20日 米沢市)

### (2) マスメディアを活用した広報活動の実施

結核・生活習慣病に対する予防意識の高揚と検診受診勧奨に努めた。

区分	放送月	放送局	内容
テレビスポット	9月/120本	YBC/YTS TUY/SAY	9月のがん征圧月間と結核予防週間の周知広報と健康の大切さ・検診の重要性をモンテディオ山形の秋葉選手を起用したテレビCMとラジオCMにより広く呼び掛け、啓発を図った。
	1月/50本	YBC/YTS TUY/SAY	健康の大切さ・検診の重要性をモンテディオ山形の秋葉選手を起用したテレビCMとラジオCMにより広く呼び掛け、検診受診の啓発を図った。

区分	放送月	放送局	内容
ラジオ企画	9月/2本	YBC/FM山形	9月22日「みんなで広げよう！健康の輪2012」イベント2会場において、職員が企画参加した「健康ラジオ番組」をYBCラジオ公開生放送とFM山形公開録音にて放送、来場者以外にも県下に幅広く啓発を図った。
ラジオスポット	9月/40本	YBC/FM山形	9月のがん征圧月間と結核予防週間の周知広報と健康の大切さ・検診の重要性をモンテディオ山形の秋葉選手を起用したテレビCMとラジオCMにより広く呼び掛け、啓発を図った。

区分	掲載日	掲載社	内容
新聞広報	H24.5.30	朝日新聞	がん検診のお役立ち情報ガイド欄にがんの知識啓発と受診を呼び掛けるため広告した。
	H24.8.30 H24.8.31	山形新聞・毎日新聞 読売新聞・朝日新聞	9月のがん征圧月間と結核予防週間の周知広報と、検診の受診勧奨を広く呼び掛けた。
	H24.9.28	山形新聞	10月のがん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間に併せ、がんに対する正しい知識の啓発を広報した。
	H24.11.25	山形新聞	年々拡大を続ける糖尿病の予防・治療の啓発を図るため広告した。
	H25.2.23	山形新聞	健康、介護、子育てに関する情報イベント「健康・元氣サポートフェア2013」の特集号に健康の重要性を呼び掛けるため広告した。

区分	放映月	視聴数	内容
NDスタジアムオーロラビジョン放映	9月～11月	6試合/約41,500人	テレビCMをモンテディオ山形のホームゲーム時に放映し啓発を行った。

## 2. 広報教育媒体の貸出し

健康まつり、健康催事、事業所等の健康教育媒体として、乳がん触診モデルなどの各種疾病媒体・教育DVD・各種健康パネルの無料貸出しを行った。また、各種イベントでの健康コーナーや検診受診者への健康教育時にも活用した。ホームページにも掲示し、多くの方へ利用促進を図った。

健康教育媒体の主な利用先

月日	利用主体	参加者数	利用内容
H24.6.23	団体研修会	50人	男女協同参画ネットワーク研修会にて、乳がん触診モデルを展示し啓発を行った。
H24.7.6 H24.7.9	住民検診	200人	節目健診の際に貸出しを行い、受診者へ疾病予防の啓発を図った。 (がん・疾病模型3台・防煙媒体3台)
H24.10.14	健康催事	65人	鶴岡地域の各種健康関連団体による健康の集いにおいて、「乳がん触診モデル」を1台展示した。
H24.10.18	健康催事	50人	病院祭の健康相談コーナーへ貸出しを行い、来院者へ疾病予防の啓発を図った。 (栄養パネル10枚)
H24.10.27 H24.10.28	地域文化祭	100人	文化祭へ貸出しを行い、参加者へ疾病予防の啓発を図った。 (禁煙パネル7枚・四重奏パネル9枚・疾病模型3台・健康器具2台)
H24.11.3	地域文化祭	100人	文化祭に参加し、骨密度測定の実施に併せ、骨密度のパネルを掲示し知識の啓発を行った。

H24.11.3 H24.11.4	地域文化祭	50人	文化祭に体力測定器具（体前屈計）を貸出し、住民の健康増進に役立てた。
H24.11.11	健康まつり	100人	健康まつりの際に貸出しを行い、参加者へ疾病予防の啓発を図った。 （禁煙パネル7枚・疾病模型4台）
H25.2.18～ H25.3.14	事業所検診	500人	社員の定期健診の際に貸出し、DVD放映を行い、生活習慣病予防の啓発を図った。 （DVD：脱メタボ 他）

### 3. 健康機関誌の作成、配布

健康情報誌、山形県喫煙問題研究会編集禁煙教育パンフレット「タバコと健康」等の各種パンフレットを自治体・学校・病院・事業所に無料配付を行った。また、ホームページにも掲示し、多くの方へ健康啓発や利用促進を図った。

#### ・健康情報誌「しあわせ」（年2回発行）各5,000部

発行月	主な内容
平成24年9月	がん検診と放射線被ばく線量・シリーズ「普段からできる健康管理 料理編」 他健康UP情報ほか
平成25年3月	特定保健指導実施の効果・シリーズ「普段からできる健康管理 運動編」 他健康UP情報ほか

#### ・禁煙教育パンフレット「タバコと健康」 42,000部

配布箇所	送付部数
74箇所	県内 18,000部 / 県外 24,000部 合計 42,000部 送付（東北中央病院 他）

#### ・各種健康パンフレット7種 10,000部

パンフレット内容	配布部数	備考
結核の常識	2,000部	結核予防会作成
よくわかる検診結果ガイドブック	400部	寺本民生帝京大学医学部教授監修
もっと知りたい大腸がん	2,000部	日本対がん協作成
がん検診	1,800部	日本対がん協会編集
乳がんのセルフチェック	1,800部	日本対がん協会編集
がん予防読本	1,800部	森山紀之国立がん研究センターがん予防・検診研究センター長監修
女性の健康づくりガイド	200部	安達和子総合母子保健センター産科長厚生労働省がん検診に関する検討会委員監修

### 4. 健康づくり組織活動

疾病予防や生活習慣病の見直し、健康啓発に積極的に取り組み、県全域で活動を行う次の2つの団体の活動を支援した。

#### (1) 山形まめの会

市町村及び事業所等で実施する検診、或いは他の医療機関等で疾患を発見され、手術・治療を受けられた方の集まりで、会員相互の情報交換や啓蒙活動を目的に活動。術後者がより快適な健康生活を営み、また自らの体験を通じて健康管理や検診の重要性を多くの方々に理解していただくため、地域行事や研修会などさまざまな場を利用し、「早期発見、早期治療の大切さ」を積極的に訴える等、各種疾患による犠牲者をなくすための諸活動に対し、1,150,000円の助成と職員派遣等の活動サポートを行った。  
（平成25年3月31日現在の会員数125人）

主な活動内容

月日	活動項目	参加数	内容
H24.5.17	役員会	11人	平成23年度事業報告・決算並びに平成24年度事業計画の審議・承認
H24.6.7	全国よろこびの会総会	9人	全国組織の平成23年度事業報告・決算並びに平成24年度事業計画の承認
H24.8.23	県総会	58人	平成23年度事業報告及び平成24年度事業計画の報告説明並びに健康講演の聴講
H24.9.25	みやぎよろこびの会大会	4人	他県組織との情報交換
H24.10.25～26	米沢・南陽支部合同情報交換会	16人	健康講演を通じ、健康管理に関する情報習得
H24.11.22	山形支部情報交換会	6人	〃
H24.11.28～29	庄内・最上支部合同情報交換会	8人	他県の健康増進交流施設を見学し、健康管理に関する情報習得
H25.3.21	米沢支部情報交換会	12人	健康講演を通じ、健康管理に関する情報習得
H25.3.22	庄内支部情報交換会	15人	健康管理の一助として、簡易健診を実施
H25.3.22	最上支部情報交換会	8人	〃
H25.3.28	山形支部情報交換会	12人	健康講演を通じ、健康管理に関する情報習得
H25.3.28	南陽支部情報交換会	15人	〃

#### (2) 山形県結核成人病予防婦人団体連絡協議会

「山形県婦人連盟」・「山形県J A女性組織協議会」・「山形県商工会女性部連合会」の3団体が集い、結核撲滅・がん征圧を目指し設立。「家族の健康は主婦の手で」を合い言葉に、結核及び各種疾患の予防の普及や検診の受診勧奨などを婦人層に広く啓発を図ることを目的に活動を行っており、その諸活動に対し、2,300,000円の助成と職員派遣等の活動サポートを行った。  
（平成25年3月31日現在の山婦協会員数約24,500人）

主な活動内容

月日	活動項目	参加数	内容
H24.4.14	村山ブロック研修会(村山連合婦人会)	130人	健康講演・健康講話を通じ、健康管理に関する情報習得
H24.6.18	庄内ブロック研修会(庄内町余目地域婦人団体)	15人	〃

H24.6.27	理事会	11人	平成23年度事業報告・決算並びに平成24年度事業計画の審議・承認
H24.11.8～9	東北地区幹部研修会	10人	健康講演・シンポジウムを通じ、健康管理に関する情報習得
H24.11.21～22	山婦協全体研修会	40人	健康講演・健康講話を通じ、健康管理に関する情報習得
H24.12.1	庄内ブロック研修会(樺引地域婦人団体)	35人	"
H24.12.18	村山ブロック研修会(J A 女性部)	150人	"
H25.3.1	置賜ブロック研修会(婦人団体/JA/商工会)	92人	"

## 5. その他の普及啓発

結核・生活習慣病に関する情報の提供、保健事業や健康管理についての知識の向上と予防対策の普及啓発に努めた。

### (1) 研修会の開催

事業所の健康管理担当者研修会の開催

月日	研修名	参加数	内容
H25.3.8	平成24年度健康管理担当者研修会(山形)	70人	山形検診センター管内事業所健康管理担当者に結核及び各種疾患の予防の普及や検診の受診勧奨など、広く啓発を図ることを目的に開催し、医師の講演や職員の講話など、職場における健康管理の活動サポート情報の提供を行った。
H25.3.21	平成24年度健康管理担当者研修会(庄内)	45人	庄内検診センター管内事業所健康管理担当者に産業界の立場から見た健康管理について、医師からの講演と食生活での健康管理について、管理栄養士からの講話を実施し、健康管理に関する情報提供を行った。
H25.3.21	平成24年度健康管理担当者研修会(米沢)	33人	置賜地区健康管理推進連絡協議会との共催により、職場及び職員の健康管理について保健所長や医師の講演、保健師の情報提供を実施し、健康診断・健康管理の重要性の啓発を行った。

### (2) 講演会への派遣

健康教室へ医師並びに保健師及び管理栄養士の職員等を派遣し健康知識の啓発を行った。

主な講演会への派遣

月日	派遣先	参加数	内容
H24.5.2	天童市連合婦人会主催の研修会	12人	管理栄養士「健康レベルアップ術」
H24.5.23	山形県経営者協会経営活性化女性懇話会	20人	医師「日々健康で過ごすために」
H25.2.18	出羽商工会女性部温海支部	24人	保健師「がん検診受けていますか？」
H25.2.24	天童市長岡地域婦人会主催の研修会	40人	管理栄養士「いきいきわくわく健康っていいなあ」
H25.3.3	天童市荒谷地区婦人会主催の研修会	35人	管理栄養士「活いき 健康生活～心身ともに若々しく～」
H25.3.15	J A 山形おきたま女性部の研修会	43人	医師「認知症」

### (3) 結核予防会・対がん協会連携関係

全国大会出席	第64回結核予防全国大会	結核撲滅の対策強化とした大会宣言が東京都にて決議された。	
	平成24年度がん征圧全国大会	がん征圧運動の主要行事である全国大会を香川県にて開催、情報交換会等を行った。	
機関誌及びパンフレット啓発	結核予防会「複十字誌」	5・7・9・11・1・3/各月	市町村・保健所・医師会他
	結核予防ポスター送付掲示	9月	県内学校他
	日本対がん協会報	毎月・増刊1回	県内病院・医院・医師・事業所他
	がん征圧月間及び予防ポスター送付掲示	9月	山形県医師会

### (4) 募金活動等

ア がん及び生活習慣病征圧のために繰り広げている募金運動。

頂いた浄財は、普及啓発活動として健康啓発イベントやテレビ、ラジオ、新聞等を利用した健康増進や検診受診の呼びかけ、パンフレット等の購入、生活習慣病予防の活動をしている組織団体への助成に活用した。

・維持会募金他 3,223,272円(2団体・76法人・174個人)

イ 公益財団法人結核予防会が窓口となり、結核や肺がん、その他胸の病気をなくすために世界約80カ国で繰り広げられている募金運動。

当法人では婦人会を中心に運動を行い、頂いた浄財は検診車や検診施設の整備、結核予防に関する大会・研修会などの教育広報、結核対策途上国等への支援に幅広く活用された。

・複十字シール運動募金他 489,307円

## 各種検診の実施、二次予防の推進

### 1. 検診事業

医療保険者、自治体、事業所等からの委託を受けて各種検診・検査を実施した。特定健康診査、人間ドック、全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診、肝炎ウイルス検診が大幅に当初計画を上回った。一方で、胃がん検診の受診者が計画を下回っている他、子宮がん検診や乳がん検診の伸びが鈍化傾向にある。一部検診事業によって増減はあるものの、全体としては当初計画を上回ることができた。

- ・ 未受診者への積極的な受診勧奨の他、人間ドック受診予定者に対して実施主体からの了解のもと予約日の数日前に電話連絡し、受診者確保に努めるとともに、全体的な受診者数の底上げを行った。
- ・ ICカードハンディ健診システムに自前で開発した料金徴収システムを並行稼働させ、更なる検診事務の効率化を図った。
- ・ 迅速で正確な検診の結果通知を行うことに取組み、概ね3週間以内で対応することが出来た。

(単位:人)

項目	計画	実績	比較増減	総人員			参考		
				計画	実績	比較増減	(平成25年5月1日現在の数)		
特定健康診査	51,330	51,900	570	51,330	51,900	570			
特定保健指導	2,550	2,350	200	2,550	2,350	200			
生活機能評価	2,355	2,455	100	2,355	2,455	100			
胃がん検診	55,600	53,725	1,875	104,920	103,514	1,406	発見がん患者数(疑含む) 88人 がん発見率 0.09%		
大腸がん検診	64,320	63,983	337	118,525	119,666	1,141	発見がん患者数(疑含む) 111人 がん発見率 0.09%		
子宮がん検診	19,420	19,317	103	38,490	38,478	12	発見がん患者数(疑含む) 36人 がん発見率 0.09%		
乳がん検診	併用	17,155	17,008	147	35,270	34,927	343	発見がん患者数(疑含む) 63人 がん発見率 0.17%	
	視触診	1,390	1,400	10	1,475	1,476	1		
呼吸器がん検診	X線	44,825	44,416	409	77,315	77,473	158	発見がん患者数(疑含む) 66人 がん発見率 0.09%	
	喀痰	2,720	2,591	129	3,615	3,522	93		
器検診	結核検診		41,845	41,302	543	123,170	122,137	1,033	
		精査	45	48	3	45	48	3	肺結核患者数 3人 発見率 0.002%
	結核菌検査	5	17	12	5	17	12	発見がん患者数(疑含む) 35人 がん発見率 0.03%	
人間ドック	33,655	34,131	476	33,655	34,131	476			
全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診	22,980	23,852	872	22,980	23,852	872			
腹部超音波検査	30,825	31,063	238	31,555	31,804	249	発見がん患者数(疑含む) 13人 がん発見率 0.04% その他疾患数 675人 発見疾患率 2.12%		
一般検査	定期健康診断	73,985	72,355	1,630	73,985	72,355	1,630		
	その他(延件)	463,785	465,611	1,826	463,785	465,611	1,826		
学校検診	50,040	50,182	142	50,040	50,182	142			
細胞診検査	10,530	10,930	400	10,530	10,930	400	(自衛式) 37例中6の子宮がん 発見がん患者数(疑含む) 4人 がん発見率 0.04%		
前立腺がん検診	21,050	21,273	223	21,050	21,273	223	発見がん患者数(疑含む) 110人 がん発見率 0.52%		
骨密度測定	19,100	18,828	272	19,100	18,828	272			
肝炎ウイルス検診	5,120	7,409	2,289	5,120	7,409	2,289			

(注) 総人員: 単独検診に人間ドック、全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診に含まれる検診項目を加算。

### 受託事務等

項目	計画	実績	比較増減
受付問診等 (人)	6,089	6,351	262
結果送付 (件)	79,775	90,005	10,230
料金徴収 (件)	26,050	25,816	234

上記各種検診に含まれる離島や過疎地における出張検診、社会福祉施設等の健康診断は以下のとおり。

#### (1) 離島(飛鳥)検診を実施した。

特定健康診査	108人
大腸がん検診	57人
肺がん検診	71人
前立腺がん検診	13人
骨密度測定	25人
肝炎ウイルス検診	3人

#### (2) 県内の過疎地域、僻地の検診を実施した。(3市、10町、3村)

特定健康診査	14,571人	腹部超音波検査	6,356人
特定保健指導	381人	前立腺がん検診	5,168人
胃がん検診	9,183人	骨密度測定	3,359人
大腸がん検診	11,593人	肝炎ウイルス検診	1,837人
子宮がん検診	4,087人	人間ドック	9,487人
乳がん検診	3,580人	職域検診	13,436人
肺がん検診	10,911人	学校検診	4,424人
結核検診	8,352人		

#### (3) 県内の老人福祉施設、障がい者支援施設、身体障がい者更生支援施設、知的障がい者支援施設入所者の検診を実施した。(65.7%)

定期健康診断	1,593人
呼吸器検診	2,331人
胃がん検診	274人
大腸がん検診	266人
子宮がん検診	222人
乳がん検診	173人
血液検査	483人

### 2. 事後管理

- (1) 人間ドック受診者へ医師による当日結果指導を実施した。(1健康保険組合 477人)
- (2) 健康相談の依頼を1社から受け、76人に対して実施した。
- (3) 検診後の事後指導や健康講話の依頼を39社から受け、2,263人に対して実施した。
- (4) 精密検査の未受診者把握に努め実施主体と連携し、受診勧奨を行い受診率向上に努めた。

### 3. 資料収集・調査研究協力

#### (1) データ収集

調査研究等へ活用するため、検診データ5年分を収集している。(平成20年度～平成24年度)

マスタファイル種別	収 集 件 数
総合健診	1,086,128 件
胃がん検診	521,147 件
大腸がん検診	575,461 件
子宮がん検診	189,068 件
乳がん検診	184,973 件
呼吸器検診	990,444 件
腹部超音波検査	154,377 件
前立腺がん検診	95,392 件
骨密度測定	84,464 件
肝炎ウイルス検診	25,534 件
合 計	3,906,988 件

#### (2) データ提供等

精度管理向上のための基礎資料となるデータを提供した。

提供先	内容
山形県	がん検診成績及び実施状況のデータ提供。山形県生活習慣病検診等管理指導協議会の基礎資料となる。
山形県医師会	各中央委員会へデータ提供。山形県医師会主催の各種検診中央委員会の基礎資料となる。 呼吸器検診より発見された肺がん患者の呼吸器検診フィルム及びデータを提供。症例検討会時に活用。
山形大学	比較読影対象者データの解析と比較読影により要精検となった割合や陽性反応的中度等のデータ提供。
日本対がん協会	がん検診成績及びがん検診の追跡調査データ提供。日本対がん協会の基礎資料となる。
日本乳癌検診学会	乳癌検診実態調査。同学会及びMMG精度管理中央委員会の全国実態把握の基礎資料となる。
日本消化器がん検診学会	消化器がん検診実態調査。同学会全国集計調査の基礎資料となる。
米沢市	国保加入者の特定健康診査受診者の実施成績のデータ提供。置賜地域の糖尿病対策の基礎資料となる。
米沢市医師会	早期胃がん患者の胃がん検診フィルム及びデータを提供。症例検討会時に活用。
山形県自動車販売健康保険組合	特定保健指導利用者の過去3年間の成績を提供。

#### (3) 調査研究協力

##### ア 乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験 (東北大学)

通常の検診(視触診+マンモグラフィ)に超音波検査を併用で実施する検診と、超音波検査を併用しない検診を実施した方(研究同意者)の追跡調査及びデータ入力に協力した。

##### イ 山形分子疫学コホート研究 (山形大学)

ゲノム疫学手法を基盤に、疾患の原因となる遺伝子要因とこれらと深く関わる生活習慣(環境因子)の解明を目指す研究事業に協力(採血・尿検査)した。(2市 3,795人 同意率 72.1%) また、平成24年度に山形大学から、事業協力に対し感謝状をいただいた。(事務局、山形検診センター、庄内検診センターが受領)

#### (4) 学会発表、講演、講話

蓄積された検診データを活用し、学会発表を行い、各分野の医学的基礎資料として活用いただいた。

学会名	発表内容
第50回日本消化器がん検診学会東北地方会	「一般住民の大腸がん検診至急連絡対応について」 山形検診C 加藤業務課主査 表記該当事者への実施主体との連携方法の事例紹介。
	「検診の過去・現在・未来 検査士の立場から」 南陽検診C 齋藤臨床検査主査 腹部超音波検査委員会を取り組んだ精度管理の維持、確立内容を報告。
	「経験年数別の技師読影力の比較・検討」 庄内検診C 五十嵐診療放射線技師 データ解析による技師のスキルアップの報告。
第71回日本公衆衛生学会	「特定健康診査当日の特定保健指導実施の効果」 山形検診C 荒井主任管理栄養士 表記に係る効果と課題を報告。
第22回日本乳癌検診学会	「乳がん検診におけるマンモグラフィ比較読影の意義について」 山形大学 木村青史医師 過去3年間のデータを基にした比較読影の意義。
日本産婦人科医会がん部会事業研究会	「ベセスダシステムと子宮頸がん検診リコメンデーション普及」 細胞診C 石山副所長 パネラーとして当法人子宮がん検診データを紹介。
第32回東北地区集検放射線技術部会研究会	「当機構の乳がん検診(施設検診)の紹介」 南陽検診C 引地診療放射線技師 導入背景、実施体制、読影体制を紹介。
	「新・胃X線撮影法の導入について」 最上検診C 斎藤主任診療放射線技師 胃がん症例検討による読影力の向上、専門認定技師のスキルアップを報告。
第39回山形県公衆衛生学会	「特定健康診査当日の特定保健指導実施の効果-第2報-」 山形検診C 荒井主任管理栄養士 日本公衆衛生学会後の第2報。

#### (5) 健康教育

検診結果データを集約、解析し、メタボリックシンドローム予防のための健康教室を開催した。(1町・15人)

#### 4. 精度管理

(1) 検(健)診委員会を開催し、データを集約、解析し、評価を行うとともに、提案事項や課題について協議した。

委員会名		内容
循環器等健診委員会	(合同開催)	HbA1cの表記変更(JDS値 NGSP値)。肝炎ウイルス検査実施要領変更。
人間ドック委員会		心筋疲労度検査(NT-pro BNP)等の追跡(回報)システム。
消化器検診委員会		精検結果が、がん疑いの方の最終診断追跡。胃がんリスク評価に係る内容の再検討。
呼吸器検診委員会		喀痰採取容器の変更。喀痰検査受診者減への対応。喀痰要精検者への医療機関指定。
子宮がん検診委員会		若年者の受診拡大策。
乳がん検診委員会		読影医師への成績公表。精検結果が、がん疑いの方の最終診断追跡。読影医師のローテーション。
超音波検査委員会		回報書に出力される精密検査推奨項目の表記変更。腹部超音波検査がん検診基準への試行的対応。

(2) 日本医師会及び日本臨床検査技師会へ精度管理調査を依頼し、5検診センターともに良好な評価を得た。



## ・ 管理部門の概要

### 1. 理事会・評議員会に関する事項

開催日	会議名	議題事項
平成24年6月15日	第1回(通常)理事会	「理事会運営規則制定」承認の件 「評議員会運営規則制定」承認の件 「平成23年度事業報告」承認の件 「平成23年度決算」承認の件 「理事の取引」承認の件 「理事長及び専務理事の報酬額決定」の件 「基本財産の指定」承認の件 「顧問の就任」承認の件 「定時評議員会の招集及び提出議題」承認の件 「業務執行状況の報告」の件 「評議員・理事の辞任に伴う候補者」の件 「平成24年度事業計画及び予算」の件 「諸規程」の件 「外部理事監事責任限定契約締結」の件 「衛生検査所登録」の件 出席理事10名、出席監事1名
平成24年6月29日	第1回(定時)評議員会	「評議員会運営規則制定」の件 「平成23年度事業報告」の件 「平成23年度貸借対照表並び正味財産増減計算書及び財産目録」承認の件 「平成23年度収支計算書報告」の件 「理事長及び専務理事の報酬額」承認の件 「評議員の辞任に伴う選任」の件 「理事の辞任に伴う選任」の件 出席評議員5名、出席理事5名、出席監事2名
平成24年12月6日	第2回(臨時)理事会	「平成24年度中間決算見込」報告の件 「平成24年度資金収支補正予算」承認の件 「平成25年度検診料金」承認の件 「業務執行状況」報告の件 出席理事8名、出席監事1名
平成25年3月15日	第3回(通常)理事会	「平成24年度最終決算見込」報告の件 「平成24年度資金収支補正予算」承認の件 「平成25年度事業実施計画」承認の件 「平成25年度収支予算」承認の件 「専務理事・事務局長退任」報告の件 「事務局長の選任」承認の件 「理事の辞任に伴う候補者」報告の件 「決議の省略による臨時評議員会の招集並びに提出議案について」承認の件 「監事監査規程の制定」報告の件 「諸規程の一部改正」承認の件 「業務執行状況」報告の件 出席理事10名、出席監事2名
平成25年3月22日	第2回(臨時)評議員会	「理事の辞任に伴う選任」の件 評議員全員の書面同意決議

### 2. 役員等に関する事項 (平成25年3月31日現在)

#### 役員 理事10名・監事2名

役名	氏名	就任年月日	任期	備考
理事長	有海 躬行	H24.4.1	平成26年開催の定時評議員会 終結の時まで	代表理事
副理事長	横山 紘一	"		業務執行理事
専務理事	齋藤 忠男	"		"
理事	後藤 利昭	"		
"	齋藤 幹郎	"		
"	高橋 秀昭	"		
"	本間 清和	"		
"	本間 隆宏	"		
"	山科 昭雄	"		
"	佐藤 徳彦	H24.6.29		
監事	奥山 享	H24.4.1		
"	海和 邦博	"		

齋藤忠男理事はH25.3.31退任

#### 評議員 9名

役名	氏名	就任年月日	任期	備考
評議員	朝井 正夫	H24.4.1	平成28年開催の定時評議員会 終結の時まで	
"	伊藤 俊夫	"		
"	小田 隆晴	"		
"	山口 一郎	"		
"	大内 清則	H24.6.29		
"	富田 博	"		
"	中條 明夫	"		
"	長沼 良治	"		
"	早坂 勝治	"		

小田隆晴評議員はH25.3.31退任

#### 顧問 2名

役名	氏名	就任年月日	備考
顧問	岸 陽一	H24.6.15	
"	國井 一彦	"	

**退任した役員等**

退任時の役名	氏名	退任年月日	就任年月日	備考
理事	大泉 享子	H24.6.29	H24.4.1	
〃	中矢 信一	〃	〃	
評議員	佐藤 博幸	〃	〃	
〃	佐藤 泰司	〃	〃	
〃	武田 憲夫	〃	〃	
〃	舟山 政紘	〃	〃	
〃	吉田 修一	〃	〃	

**3. 職員に関する事項** (平成25年3月31日現在)

**所属管理者**

所 属	職名	氏名	職名	氏名
事 務 局	事務局長	齋藤 忠男	総務部長	本間 隆宏
	医療監	横山 紘一	(兼)事業調整部長	佐藤 徳彦
山形検診センター	所 長	齋藤 幹郎	副 所 長	
庄内検診センター	所 長	本間 清和	副 所 長	佐藤 吉宣
最上検診センター	所 長	山科 昭雄	参事(兼)副所長	中矢 信一
米沢検診センター	所 長	高橋 秀昭	副 所 長	佐藤 友子
南陽検診センター	所 長	後藤 利昭	副 所 長	上野 俊幸
細胞診センター	副 所 長	石山 和敏	-	-

**職種別職員数**

職種	事務(員)職	業務(員)職	医師	診療放射線技師	保健師	看護師	臨床検査技師	管理栄養士	細胞検査士	合計
正規職員	80人	2人	0人	30人	11人	37人	31人	5人	4人	200人
嘱託職員	79人	10人	9人	4人	2人	25人	9人	0人	0人	138人
合計	159人	12人	9人	34人	13人	62人	40人	5人	4人	338人

役員(事務局長・医療監・5所属所長)7名を除き集計、専門職の管理職は事務職に集計、嘱託職員は年度内に雇用した人数を集計しております。

**4. 許可、認可、承認等に関する事項**

事項	内容	登録日	理由	申請先
許認可の追加	衛生検査所登録	H25.2.8	本法人が行う公益目的事業を行う際に、衛生検査所登録が必要な旨、山形県健康福祉部地域医療対策課より通知があり、登録完了した為の変更申請(許認可の追加)を行った。	山形県